

「RobiZy 農林水産部会スマート農業実証圃場『納屋ラボ田んぼ』」の取組事例

～「水管理ロボット『paditch』」等を活用した新しい農業の形がスタート！～



納屋ラボの取組事例 RobiZy農林水産部会「納屋ラボ田んぼ」

Copyright © 2021 Business Solution Partners, LLC All Rights Reserved.

現在、圃場整備中

山形県新庄市の米農家「米香房Gratia*s」 と協力し、スマート農業の実証フィールドとして運用。お米は一般市場には出回らない幻のお米「さわのはな」。できたお米は「納屋ラボ米」として販売予定！実証フィールドプレイヤーは、RobiZy農林水産部会より募ります。

「宇宙から生育状況を見る化」
圃場作物の生育状況を
国土地理院の地図上に
ビジュアルで表示

山形県新庄市
「米香房Gratia*s」圃場

「ロボットで水管理」
朝・夕の水門やバルブの開閉等の
水管理がスマホのボタンひとつで
遠隔操作。水温・水位をモニタリング

「定点カメラ・温度センサー」
画像で遠隔地からの圃場確認や、
出穂後の地点積算温度管理

RobiZyロボットユーザー部会 合同企画
複数サービスのログインをポータルAppで統一化
サービスメニューより追加サービスの情報発信

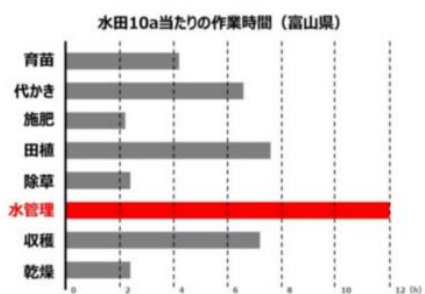


ロボットを活用した「スマート農業」 paditch

Copyright © 2021 Business Solution Partners, LLC All Rights Reserved.

スマホでかんたん水管理「paditch（パディッチ）」

IoT 技術を用いることで様々なモノがインターネットに接続できる時代となった。今回はその技術を水門に導入することで、IoT 水門が完成した。水門の開閉のみならず、センサも制御することで圃場ごとの環境情報もあわせて取得することで営農指導にも活用できる。スマートフォンやパソコンから圃場の状態が管理でき、遠隔指示を行うことができる。



水管理に1番、時間を費やしている

※スマート農業バイブル『見える化』で切り拓く経営 & 育成改革より転載

paditch導入の成果



収量増加
16.4%

※二番作圃場である。圃場環境に調査を依頼。一農家におけるpaditch導入前後、水門入圃場の収量調査を行った結果、結果で「16.4%」も paditch導入前後の方が収量が多かったという結果が得られました。（10aあたりの平均収量）

※2020年度での調査



手間・時間の削減
80%

当社は、大手ICT企業、静岡県農地局、静岡県農業経営者会、農研機構と共同研究を行う。『多田水管理ICT活用コンソーシアム』による実証実験調査で、paditchの導入で水管理に伴う負担が80%軽減したとの結果が得られました。

※実証実験期間：2017年～2019年



※本取組に関心のある企業・団体の皆さまは当社・(株)MOGITATe(info@mogitate.co.jp)まで